



ながしま

# 議会だより

## 3月定例会

(H22.3.10 ~ 3.19)

当初予算内訳	2 ~ 3
一般質問	4 ~ 5
委員会報告	6 ~ 8

春・爛漫!!

さくら満開



平成22年度一般会計当初予算

# 65億1,698万円の骨格予算

## 歳出

	予算額	主な内容
議会費	104,445千円	議員報酬等
総務費	782,296千円	人件費、施設管理費の委託料等の経費
民生費	2,117,370千円	社会福祉総務費の経費、特別会計繰出金、人件費、事務事業の委託料、扶助費（児童福祉、生活保護）
衛生費	451,966千円	人件費、予防費、老人保健費、環境衛生等経費
農林水産業費	386,215千円	人件費、農地費、漁港建設工事請負費、治山林道事業費の測量設計委託費
商工費	57,887千円	観光施設管理費
土木費	213,316千円	測量設計委託料、道路橋りょう費、道路新設改良費、港湾建設費
消防費	272,583千円	消防組合負担金、施設整備費
教育費	604,114千円	人件費、教職員住宅の環境整備費、小中学校16校分の施設管理と施設整備費、修繕費
公債費	1,506,793千円	地方債元利償還金、一時借入金利子
予備費	20,000千円	予備費
<b>計</b>	<b>6,516,985千円</b>	

平成22年第1回定例会は3月10日から3月19日までの10日間の会期で開かれ、初日に平成21年度補正予算12件、平成22年度予算及び条例改正等36件、陳情3件、発議3件が提出され、町長の提案理由の説明、その後主管課長の補足説明があった。

本会議2日目は、議案に対する総括質疑を行い、議案42件を各常任委員会へ付託、3月12日に2人が一般質問を行った。委員会審査・現地調査後、最終本会議で追加議案も含めて全議案を可決した。

## 歳入 財源となる歳入は下記のとおりです。

項目	予算額
町税	762,615千円
地方譲与税	100,961千円
地方消費税交付金	89,210千円
地方交付税	3,892,415千円
分担金及び負担金	157,774千円

国庫支出金	576,130千円
県支出金	426,720千円
繰入金	12,794千円
町債	372,500千円
その他	125,866千円
<b>計</b>	<b>6,516,985千円</b>

**平成22年度特別会計当初予算**

**42億3,474万円でスタート**

**歳出**

	予 算 額	主 な 内 容
国民健康保険	2,114,705 千円	保守点検委託料、出産育児諸費、移送費、葬祭費 保険給付費、療養費等負担金補助交付金
国民健康保険 診療施設	412,783 千円	診療施設管理費、地方債元利償還金
へき地診療施設	127,677 千円	賃金、医薬材料費
老人保健	706 千円	一般管理費、医療諸費
介護保険	1,023,022 千円	介護サービス等諸費負担金補助及び交付金（保険給付金）
簡易水道	212,888 千円	水道施設管理費委託料、建設費、地方債元利償還金
諸浦港埠頭	3,001 千円	施設管理委託料
農業集落排水	48,258 千円	施設管理委託料、地方債元利償還金
漁業集落環境設備	48,886 千円	施設管理委託料、地方債元利償還金
特定地域生活 排水処理	82,088 千円	工事請負費、地方債元利償還金
水産種苗供給	24,334 千円	原材料費、賃金
後期高齢者医療	136,393 千円	後期高齢者医療広域連合給付金、健康診査費
<b>計</b>	<b>4,234,741 千円</b>	

# いっばん質問

2人の議員が町政全般にわたり町長、教育長に質問しました。  
内容については次のとおりです。

## 一期目の総括と今後の取り組みについて



小川 武男議員

**質問** 新町の初代町長

として、「語り・動き  
ます」を政治姿勢に掲  
げ、長年築いてきた、  
国・県とのパイプを活  
かして他の市町村が羨  
むような町づくりが行  
われた。

一期目の自己採点と  
今後の課題を伺う。

**町長**  
町民が採点

**答弁** 町長 長島に夢  
と活力、そして福祉が  
充実した町づくりを全  
力投球してきた。結  
果、きめ細かな福祉対  
策、農業漁業の振興、  
公共事業の活力、住民

が自慢できる町づくり  
の推進、行財政改革、  
赤潮などの危機対応な  
ど、手ごたえ、成果は  
あったと考えている。

今後の課題としては

獅子島架橋、三県架橋  
地域高規格道路建設等  
厳しい状況の中で、粘  
り強く陳情活動を行っ  
ていく。

**質問** 学校等規模・配

置のあり方検討委員会  
の答申を受け、昨年九  
月より、町内10会場で  
住民説明会が行なわれ  
た。

一方では校舎の耐震  
調査も実施している。

住民説明会や耐震診断  
結果を受け、今後どの  
ように推進して行くの  
か伺う。

**答弁** 町長 住民説明

会が出た意見を参考に  
し、新しい政権で推進

委員会をつくり、年次  
的に具体化する必要が  
あると考えている。

校舎の耐震補強は必  
要であり、学校の統廃  
合と調整しながら整備  
を進めるべきと考えて  
いる。

**質問** 東分遣所は手狭

で老朽化がひどく、町  
民の安全を守る施設と  
は言えない。広域化を  
待たず、両分遣所を統  
合し、消防職員の訓練  
消防操法大会等ができ  
る施設を建設する考え  
はないか伺う。

**答弁** 町長 東分遣所  
は狭隘化や老朽化が課  
題であり、統合し新た  
な庁舎建設の必要性を  
感じている。北薩地域  
消防広域化の推移を見  
極めてから判断する。

**質問** 来年三月九州新

幹線が全面開通する  
他、西回り九州自動車  
道、空港道路等の整備

が進み、都市と長島を  
結ぶ時間が大幅に短縮  
される。本町は観光資  
源の宝庫であるが活か  
しきれてない。そこで、  
風力発電施設を核とし  
た観光地づくり、観光  
ルートの構築は万全か  
伺う。

**答弁** 町長 長島の魅

力を県内外にPRする  
絶好の機会ととらえ、  
「全国都市緑化フェア」  
の協賛会場として多く  
の観光客を迎える準備  
を進めている。また、  
新しくオープンした  
「黒之瀬戸だんだん市  
場」が観光の情報発信  
基地としての重要な役  
割を担う。ぐるっとフ  
ラワーロード、ホテル  
の里、風車公園等を整  
備し、全国に発信でき  
る、夢とロマンあふれ  
る町づくりを進める。

## 職員の適正定数と人事について

**質問** 平成25年度の

職員定数の目標値を  
155人に策定してあ  
るが、今後の組織機構  
の見直しと職員採用の  
計画を伺う。また、管  
理職の人事異動は予算  
編成前にできないか伺  
う。

## 町長 新しい政権で考慮

**答弁** 町長 本町には  
離島等の特殊な事情も  
あるので、適正数を見  
極め住民サービスが低  
下しないよう職員採用  
を図る。

また、管理職や職員  
の人事については提言  
を参考にしながら職歴  
勤務年数、適材適所等  
を考慮し、組織機構の  
改革を合わせ、新政権  
で考慮する。

# 公共事業の成果と 今後の課題について



田中 正隆議員

**質問** 獅子島架橋について、町長以下、国・県へそれぞれ陳情、要望等をされていると思うが、どのような状況であるのか。また県道長島宮ノ浦港線の本町地区、平尾地区の状況はどうか。

**答弁 町長** 獅子島架橋建設促進期成会を軸に平成6年から毎年、国や県に対し要望活動を実施しており、平成21年11月には国会の民主党幹事長室において要望書を提出し、同年12月には期成会役員と県知事、県議会議長に要望書を渡し、地元の声を直接伝えている。国においては、政権

交代により事業仕分けなど時代の流れが「コンクリートから人へ」と大きく変わりつつあるが、今後の取り組みとして新たな視点で建設に向けた展開を模索していく必要がある。

また、県道については、鷹巣地区は財源確保が厳しい中、整備が進められている。平尾地区については、道路改良工事の事業費に占める補償費の割合が高く、苦肉の策として一番危険な交差点部の部分改良を知事に直接お願いしたところ、信号機のある交差点部を調査してもらうことになった。近いうちに概略平面図が示されるものではないかと思っている。

**質問** 財政難になったときの町内業者の育成策として、行政でいいアイデアを持つて指導しているか。また、合併浄化槽の一本化の考えはないか。

**答弁 町長** 財政難になったときの町内業者の育成については、今までの財政運営を見ていただくと毎年基金の積み増しがあり、町が財政難に陥るようなことは考えていない。地域活性化・きめ細やかな臨時交付金の賑わいあたりでも県内市町村の中で鹿児島市に次ぐ予算確保ができています。国・県の制度を十分活用するため、知恵と努力で財政と活力のバランスを図ることが責任者の務めであり、町内業者の育成につながるものと思う。

また、合併浄化槽の一本化については、事業の一本化は理想であ

るが、旧町時代からそれぞれの経緯があり、現在に至っており制度上の問題もあり、当分の間は現状の体制で推進を図らざるを得ない。

## 福祉・観光・教育 について

**質問** 福祉事務所設置に伴いその成果はどうか、また高齢者への地デジ指導・助成策とシルバーセンター運営状況について伺う。

**答弁 町長** 福祉事務所を開設してから3年を経過しようとしているが、生活保護の動向については、県から引き継いだ世帯が61世帯、今年の3月1日現在で、保護の開始・廃止はあるが61世帯と同等数になっている。県からの権限委譲による生活保護等の各事業については、県から指導を

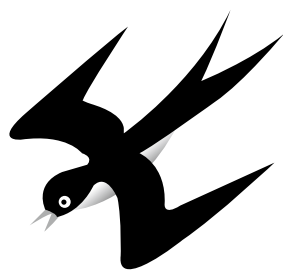
もらい順調に推移している。

地デジ指導と助成策については、民生委員を中心に高齢者からの相談と悪徳商法に対処するため、昨年までに2回研修会を開催し、周知を図ったところである。助成策は、生活保護などの公的補助を受けている世帯や障害者等でNHKの受信料が全額免除されている世帯については、国から受診チューナーが無償支給される。

シルバーセンターは、運営については町社会福祉協議会が町から補助金を受けて運営しており、平成20年度実績では、会員数65名、就業延べ人員が917名、年間利用件数161件、事業収入が362万円と町から193万円の補助金を受けている。

**質問** 町内イベントのジョギング大会やウォーキング大会等交通量が多い中、事故等が憂慮されるが見直しの考えはないか。

**答弁 町長** 近年の健康づくりブームと相まって参加者も年々増加傾向にあり、本町の発展に欠かせないものと考えている。





# 常任委員会審査報告

常任委員会は3月15日から開かれ、付託された議案等を審査しました。内容は次のとおりです。

## 総務常任委員会

委員長 児島 薩男

### ▼総務課関係

**問** 本町からの自衛隊の隊員数の状況は。

**答** 平成19年度は88人。20年度は80人。21年度は77人と年々減少傾向にある。今年度の採用は0人の見込みである。

**問** 財産管理費で修繕料1,000千円と登記手数料の内容は。

**答** 修繕料は、サンセット長島の畳の張替え130枚と非常用バッテリーの費用である。登記手数料は、総務課を含め他の所管課の登記手数料に要する予算。(平成21年度補正予算)

**問** 財産管理費の施設管理委託で夜間警備員の単価が指江庁舎と鷹巣役場庁舎と違うがその根拠は。

**答** 夜間・休日等の電話等の受付はすべて役場受付を一本化している。そのため、その業務量の違う分だけ単価が違う。

**▼企画財政課関係**

**問** 企画総務費で、巡回バスについて、バス運行の東西乗り入れは考えていないか。

**答** 現在、町内の巡回バスは、マンダリン号2台、がらがぶ号1台で運行しているが、利用者の減から便数減を考えた得ない状況になっている。再三東西乗り入れの意見は聞いているが、現段階では路線の見直しまでは至っていない状況である。

**問** 風力発電の売電収入が720万円となっているが、低くはないか。また、他の風力発電会社から税金など収入があるが、その一部を町民に還元できる事業を考えていないか。

**答** 風の強弱によって発電量が違うので、低く見積もっている。また風車の税金を活用しての町民還元は現段階では考えていない。防犯灯については、別の事業を活用して設置している。

**問** 離島振興の一環で獅子島島民へのフェリー補助等はないか。甘夏やデコポンなど出荷経費がかかるが、フェリーの回数券補助を実施している。平成20年度は10枚買うと1枚の補助。平成21年度は、5枚チケットを買うと1枚補助している。しかし、利用増に繋がっていない状況である。

**問** 国民宿舎の耐震はどうなっているか。長島では唯一、多くの観光客を宿泊させる施設であるが、何らかの対応をしてほしいと思うが、また、現在の起債制限比率はいくらか。

**答** 国民宿舎については、耐震対応など莫大な費用がかかるため、何らかの補助がないか検討していきたい。また、健全財政の指標としては、起債制限比率より実質公債比率を一つの指標にしている。実質公債比率は15.7%と安定した数値である。

**▼税務課関係**

**問** 歳入で法人税の現年度分が減額になっているが、赤潮被害も影響しているか。

**答** 法人所得の減少で所得割分の減額によるものである。昨年の実績重視で算定したものであるが、赤潮被害も若干影響があると考える。中堅事業所の所得割が落ち込んだため緩和的に減額したためである。

**問** 町税の納期回数の見直しについて、現在12月ですべての納期が終わっているが、納期の回数を増やす考えはないか。

**答** 納期内納入の推進の趣旨から合併時から12月までの6期である。一部の町民からの意見もあるが、納期を年度末まで拡大することで年度繰越による滞納額が増えることが懸念されることから、現状納期でいく考えである。

**問** 風力発電の売電収入が720万円となっているが、低くはないか。また、他の風力発電会社から税金など収入があるが、その一部を町民に還元できる事業を考えていないか。

**答** 風の強弱によって発電量が違うので、低く見積もっている。また風車の税金を活用しての町民還元は現段階では考えていない。防犯灯については、別の事業を活用して設置している。

**問** 離島振興の一環で獅子島島民へのフェリー補助等はないか。甘夏やデコポンなど出荷経費がかかるが、フェリーの回数券補助を実施している。平成20年度は10枚買うと1枚の補助。平成21年度は、5枚チケットを買うと1枚補助している。しかし、利用増に繋がっていない状況である。

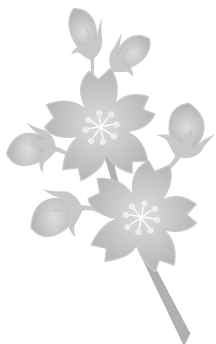
**問** 国民宿舎の耐震はどうなっているか。長島では唯一、多くの観光客を宿泊させる施設であるが、何らかの対応をしてほしいと思うが、また、現在の起債制限比率はいくらか。

**答** 国民宿舎については、耐震対応など莫大な費用がかかるため、何らかの補助がないか検討していきたい。また、健全財政の指標としては、起債制限比率より実質公債比率を一つの指標にしている。実質公債比率は15.7%と安定した数値である。

**▼税務課関係**

**問** 歳入で法人税の現年度分が減額になっているが、赤潮被害も影響しているか。

**答** 法人所得の減少で所得割分の減額によるものである。昨年の実績重視で算定したものであるが、赤潮被害も若干影響があると考える。中堅事業所の所得割が落ち込んだため緩和的に減額したためである。



# 建設経済常任委員会

委員長 下塩見 浩

## ▼事業推進課関係

**問** 電子入札システムについては、何%の実施率であるか。

**答** 現在、95・9%で、町内の一般建設業者は100%できるが、一部、零細な業者が電子入札のシステム環境の整備ができていない。

## ▼水産商工課関係

**問** 「うまかもん幣串」の女性グループの加工する主な材料は何か。また参加人員、販売先はどこか。

**答** 主な加工品材料は、ブリ・アオサ・イボダイ・エソ・ハモであり、製品はブリカツ、ブリの照り焼き、味付けすり身、エソ・カマス一夜干し、乾燥オサ、生オサ、グチの味噌漬け等があり、販売先は

各種イベントやふれあいの里、だんだん市場である。

**問** マダイ・ヒラメの放流効果はどうか。

**答** 混獲率でいって、ヒラメが20%〜30%、マダイ7%で、アワビは標識をつけて放流している。

## ▼建設課関係

**問** 平成21年度土木使用料、住宅使用料の未納はないか。

**答** 土木使用料の未納はないが、住宅使用料については調停裁判をした1件を除き、未納はない。

## ▼諸浦港の可動橋は

**問** 諸浦港の可動橋は何年経過しているか、また架け替えの計画と経費はどのくらいになるのか。

**答** 現在30年以上経過

しており、架け替えについては港湾計画のなかで計画中であり、経費については護岸等も含めて3億円程度を見込んでいます。

## ▼農業委員会関係

**問** 今回の農業委員の公選・推薦の内訳と農地の耕作放棄地が多いが農地パトロールの成果はどうか。

**答** 公選が14名、推薦が農協1名・共済組合1名・土地改良区1名・議会3名の合計20名である。耕作放棄地については、国の事業でアクシヨンサポート事業で現地調査を行い、耕作放棄地の解消面積として、平成21年度に13,781㎡を実施した。

## ▼水道課関係

**問** 平尾地区・蔵之元地区・北方崎地区等の配水管の統合予定はないか、また地下水の枯渇等はないか。

**答** 平成28年度までの統合計画のなかに入っている。地下水の枯渇については、取水計画に基づいて揚水すれば問題ないと思われる。

## ▼耕地課関係

**問** 「農地・水・環境保全」事業は、5年間に限った事業であるが、5年後も事業継続されるのか、また新規採択地区はあるのか。

**答** 5年間の期間限定の事業であり、事業継続の見込みはない。新規採択の予定はない。

## ▼町単農地造成の基準面積と補助額は

**問** 町単農地造成の基準面積と補助額はいくらか。

**答** 面積については、5畝から5反を上限として、深耕は反当たり25千円、造成は40千円である。

## ◎審査意見

長島町畑作農産加工センターの指定管理者の指定について、指定については支障はないと思われるが、使用料についての減免申請が提出されているようであるが、初期の目的としては町内の農産物に

付加価値をつけて、町民の所得向上を目的に施設の委託を受け操業したものであるため、使用料減免については、慎重に協議をするべきではないということとで意見の一致をみましたので報告します。

# 文教民生常任委員会

委員長 浜 実男

## ▼長生園関係

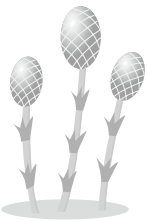
**問** 平成22年度予算で、歳出予算に対する財源内訳についてのどのようになっているか。

**答** 社会福祉施設費歳出総額1億5千18万2千円のうち主な財源としては、入所措置市町村からの措置費として1億334万9千円と一般会計4,650万3千円、雑入等その他

## ▼教育総務課関係

**問** 要保護児童援助費548万2千円計上しているが、援助費として学用品、修学旅行費、医療費、学校給食費について支給される額は、全部一律か、家庭状況などにより違うのか。

**答** 準要保護制度については、年度当初に各



学校を通じて申請が上  
がってくるが、それには  
各地区の民生委員の  
意見書を添えて提出し  
てもらっている。書類  
については、定例教育  
委員会が家庭状況、子  
どもの数等を勘案しな  
がら審査をしている。

▼学校教育課関係

問 特別支援員7名の  
内訳は、どのようなに  
なっているか。

答 来年度の支援員の  
配置については、各学  
校より希望を取り、学  
校規模、予算等を考慮  
して7名決定し、現在  
の支援員は、鷹巣小、  
鷹巣中、川床小、川床  
中、汐見小、蔵之元小  
平尾小の7校に各1名  
配置している。

▼町民福祉課関係

問 子供手当の内容と  
児童扶養手当の内容に  
ついて所得制限はある  
のか。

答 子供手当は、月額

1万3千円。児童扶養  
手当の支給内訳は、1  
人目41,720円、  
2人目5,000円、  
3人目3,000円と  
なっており、所得制限  
は1人目57万円、2  
人目95万円、3人目  
133万円以下であら  
ば支給の対象となる。

問 園児1人当たりの  
保育料はどのように算  
定されるのか。

答 町条例にて町民税  
の階層区分で算出され  
ており、一概にいくら  
とは言えないが生活保  
護世帯の0円から上級  
階層の4万4千円程度  
の範囲である。

▼保健衛生課関係

問 食生活改善推進業  
務委託について推進員  
は何か、またどのよ  
うな活動をしているの  
か。

答 推進員は、旧両町  
14名づつの28名がお  
り、集落からの要望

があった場合に食生活  
改善教室を実施してい  
る。また平成21年度の  
活動実績は、町内15会  
場で実施した。

問 特例住宅介護サー  
ビス等で未認定の方と  
は認定非該当者のこと  
か。また認定を受けた  
方がよい等の指導は  
行っているのか。

答 介護保険申請から  
認定まで30日程度必要  
であるが、その期間に  
サービスを受ける方の  
ためのもので、認定非  
該当者のことではな  
い。また、介護認定を  
受けた方がよい人には  
指導を行っている。



編集後記

平成22年度がスタートし、4月か  
ら新しい生活を始められた方も多い  
と思います。

私も議員は、住民代表の立場か  
ら、町政発展のため議会を通じて、  
様々な分野で議員活動を展開して参  
りました。

4月18日には選挙が実施され、現  
職議員としての任期が4月22日満了  
となります。

今回で「ながしま・議会だより」  
も第16号を発行することになりまし  
たが、次回からは、新しい議会だよ  
り編集委員で町民の皆様へお届けし  
ます。今後ともよろしく願いまし  
ます。

【発行責任者】 議長 長 浜上 実則

【編集委員】 委員長 崎口 国昭

委員 植元 敏光

石橋 東

岩下 儀平

川上 勇